

第3期の振り返り

- 地区社協地域福祉保健部会を毎月1回開催し、「孤立防止」をテーマに地区別計画について話し合いを持った。
- 「だれでも来られる場所」「敷居のない場所」「風通しの良い場所」として移動サロン「ほっこり」を毎月1回わかばの広場で開催した。
- お互いにあいさつをしやすい雰囲気をつくるため、あいさつ運動ののぼり旗を設置した。
- 「若葉台高齢者等地域見守り活動報告会」を連合自治会・地区社協とで共催し、地域の取り組みを情報交換した。



移動サロン「ほっこり」(わかばの広場)



地域福祉保健部会の様子

地域福祉保健施設の分布



施設リスト

子ども施設

- ◆ 認可保育所
 - ① 若葉台保育園
 - ② わかばの森保育園
- ◆ 認定こども園
 - ③ オーセルわかば幼稚園
- ◆ 幼稚園
 - ④ プレスクール若葉幼稚園
- ◆ 親と子のつどいの広場
 - ⑤ そらまめ

高齢者施設

- ◆ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)
 - ◇ トレクオーレ横浜 若葉台
 - ◇ ヴィンテージ・ヴィラ 横浜

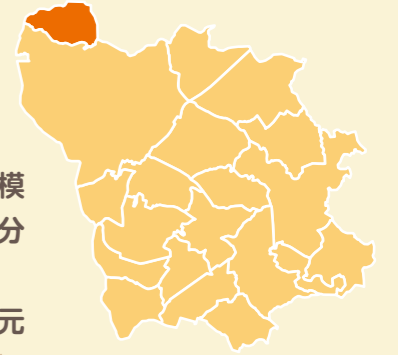
障害者施設

- ◆ その他の施設(通所、入所、障害児)
 - ① 〔通〕若葉台 ぶんげいざ

【入】：入所施設
【通】：通所施設
【児】：障害児施設

第4期 きらっとあさひプラン

若葉台 地区



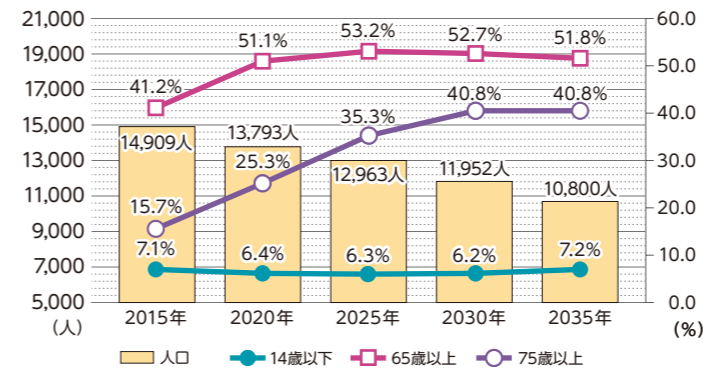
若葉台地区は、区の北端に位置し、帷子川の源流域である丘陵地を大規模開発した集合住宅団地です。団地中央には商店街や公共施設があり、歩車分離道路や、緑に囲まれた計画的な街並みが形成されています。

高齢化が進んでいますが、ウォーキングやサークルなどの活動が活発で、元気あふれる街です。

DATA

将来人口推計

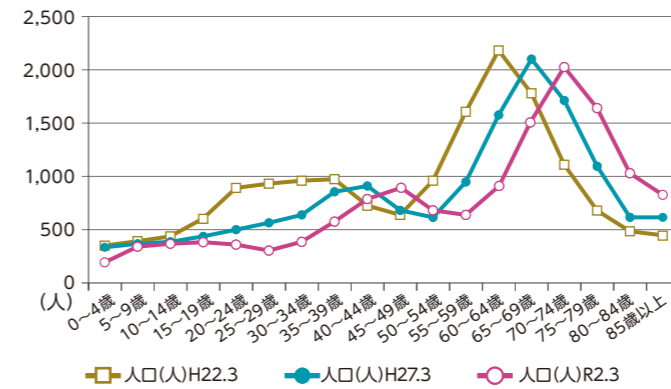
出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯と男女別人口」(各年3月末現在)



将来人口推計は、今後も減少が推測され、65歳以上の比率は2020年には50%を超えています。14歳以下の比率は、ほぼ横ばいに推移すると推測されます。

年齢5歳別人口の動向

出典：横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)



平成22年には60～64歳であった5歳別人口数のピークは、令和2年には70～74歳となっています。また、平成22年・27年に比べて年少人口は横ばい、70歳以上の5歳別人口は増加しています。65歳以上の高齢者の割合は、平成27年には41.2%でしたが、令和2年には51.1%と区平均の29.2%を大きく上回り、高齢化が進んでいることが分かります。

人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	H22	H27	R2	H22～R2 増減数	H27 構成比(%)	R2 構成比(%)	R2 区平均 構成比(%)
総人口(人)	16,089	14,909	13,793	▲2,296	100.0	100.0	100.0
0～14歳(人)	1,170	1,063	881	▲289	7.1	6.4	11.6
(内0～6歳)(人)	494	477	319	▲175	3.2	2.3	4.9
15～64歳(人)	10,452	7,707	5,869	▲4,583	51.7	42.6	59.2
65歳以上(人)	4,467	6,139	7,043	2,576	41.2	51.1	29.2
(内65～74歳)(人)	2,883	3,805	3,553	670	25.5	25.8	13.2
(内75歳以上)(人)	1,584	2,334	3,490	1,906	15.7	25.3	16.0
総世帯数(世帯)	6,679	6,714	6,728	49	-	-	-
平均世帯規模(人/世帯)	2.41	2.22	2.05	▲0.36	-	-	2.13

出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯」、「町丁目別年齢別男女別人口」(各年3月末現在)

※人口・世帯数の数値は町丁目別単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

私たちが描く地区の未来図

『困ったときに声をあげられる雰囲気のあるまちづくり』

地域には価値観、考え方の違う人など、いろいろな人がいる。そして、いろいろな関わり方がある。困ったときに声を上げ、それを受け止めることができる地域が、私たちが描く地区の未来図になります。

目標と主な取組

目標 A お互いを気にかけてあう環境を作る

④ みんなであいさつ運動を継続し充実させる

- ▶ 登山の時のようにいつでもだれとでも
- ▶ 名前を知らなくても顔見知り
- ▶ 生活の中で自然に、肩肘張らずに

④ 移動サロン「ほっこり」の継続実施

- ▶ だれでも自由に気軽に参加しやすい工夫
- ▶ わかばの広場で、様々な場所で、扉のないテントで
- ▶ なんでも気軽に相談できる場所を併設

④ みんなでちょっとだけ迷惑をかけあえる、寛容な地域づくり

- ▶ 「手伝って」「助けて」など言える付き合い
- ▶ 「気になる」前の声かけ、「気にかける」運動
- ▶ 日頃のちょっとした気づき、声かけから災害時の助け合いへ



◀ あいさつ運動(のぼり旗)



目標 B 地域のだれでもが参加のできる機会がある

④ だれでもが地域活動に参加しやすい環境づくり

- ▶ 子育て世代、学生、子ども、障がい児・者、高齢者、転入者、だれでも
- ▶ 自治会活動、清掃活動、サークル活動、スタンプラリーなどのイベントを通して
- ▶ ジュニアボランティアの活動

④ これまでの取り組みを大切に、時代や多様性を取り入れさらに充実させていく

- ▶ コロナ禍での就労や子育て環境の変化にも対応
- ▶ 屋内から扉のない屋外へ、気軽に参加できる活動

④ 若い世代目線での地域活動づくり

- ▶ 若い世代が集まれる場所
- ▶ 若い世代が声をあげられる雰囲気

④ 企画段階からのプロジェクト参加

- ▶ 組織間連携と情報交換・共有
- ▶ 学校と地域の連携



▲ジュニアボランティア(ベンチ清掃)



▲公園での活動(プレイパーク)

目標 C だれでもが気軽に集まれる身近な場がある

④ 移動サロン「ほっこり」を継続的に実施し、身近な場所で展開していく

④ だれでも参加できるサロン開催の呼びかけ

- ▶ 自治会、かがやきクラブ(老人クラブ)、子育てサロンなど既存のサロンと連携

④ 今までの活動を大切に、時代やニーズの変化に合わせて、既存の活動とつながりあう

- ▶ 清掃活動や園芸活動、防災訓練などへの参加の呼びかけ
- ▶ こども連れでも、こども同士でも参加しやすい雰囲気づくり
- ▶ ひとりでも気軽に参加できる雰囲気づくり

④ 集会所やピロティを活用しただれでもが利用できる居場所づくり

- ▶ 世代に応じた居場所・たまり場
- ▶ 多世代で参加できる交流の場

④ サークルやボランティアグループの紹介

④ 緑豊かな若葉台の特色を活かしたオープンな居場所づくり

- ▶ プレイパークなど、環境を利用した居場所
- ▶ 外出しやすく、仲間づくりしやすい雰囲気



▲こども花壇



▲プレイパーク



▲移動サロン「ほっこり」(丸太公園)

目標 D 地域の取り組みを多くの人に伝える、だれでもが地域へ情報を発信できる

④ 地域の取り組みを情報発信する

連合・単位自治会、地区社協、行政委嘱委員、かがやきクラブ(老人クラブ)、ボランティア団体、NPO、学校、まちづくりセンター、地区センター、地域ケアプラザ、その他多様な活動

④ 若い世代へのメッセージ発信、若い世代からのメッセージ発信

④ ICT(情報通信技術)の活用

④ 地区社協だよりの充実

④ 支援を必要としている人、支援をしたい人への情報提供

推進体制

若葉台地区社会福祉協議会… 連合自治会、単位自治会、住宅管理組合協議会、NPO、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、かがやきクラブ、友愛活動員、青少年指導員、保護司、PTA、ボランティアグループ、学校、幼稚園、保育園

地域の方への
メッセージ

あいさつで みんなつながる 若葉台